



風っ子・環境キャンペーン



ヤマメのスケッチを披露する2年生と、ヤマメについて教えてくれた市川隆樹さん(後列左)と、市川夏二さん(後列右)

高崎市

ヤマメを通して学ぶ 生き物が住む環境

高崎市立倉渕小学校

高崎市立倉渕小学校(倉渕町権田)の水槽で、ヤマメの稚魚が元気よく泳いでいます。同校では、毎年、秋にな

るとヤマメを卵から育てていきます。担当しているのは、2年生。なかなか難しいそうです。同校に

は頼もしい助っ人がいるからです。それが、校区内でマスのヤマメ、地元のブランド魚であるギンヒカリなどを育てている市川夏二さんと市川隆樹さんです。ヤマメのことで分かったり、困ったりしたことがあるときはいつでも親切に相談に乗ってくれます。

1月中旬、助っ人の2人が育てたヤマメを持ってきて、同校の仲間に加えてくれました。およそ300匹の稚魚が大きな水槽に移されると、児童からは「わー」という歓声が上がりました。体長はまだ3センチですが、パーマークと呼ばれる特徴的な小判状の模様が目立ちます。児童たちは、隣の水槽で泳ぐサケとの違いを話しながらヤマメをスケッチしました。

「育てるときに気をつけたのは、エサと水と温度」と市川隆樹さんがヤマメによい環境を話すと、みんなは目をキラキラさせながら聞いていました。

石井心愛さんは「サケとヤマメは近くで見ると模様やヒレの形が違った」と、岩津陽咲さんは「ヤマメは卵のような模様がある。マメちゃんという名前をつけました」と笑顔で話してくれました。



仲間に加わったヤマメの稚魚を見て笑顔を見せる児童

放流まで1か月。どのくらい大きくなるかな? エサは何回あげるのかな? 卵のよきな模様はどうなるのかな? 興味は尽きません。

身近にできるエコ活動

環境への負担が少ない製品を買おう!

再生利用できる製品などを「グリーン購入」といいます。例えば、みなさんが普段使っている文房具やノートの中には環境への負担が少ない製品を示す「エコマーク」や再生紙を作る時に、古紙パルプがどのくらい含まれているかが示されている「再生紙使用マーク」が付いている製品があります。単なる買い物でも、環境にやさしい製品を選んで買うことも立派なエコ活動の一つです。

群馬県環境サポートセンター

高崎市立倉渕小学校

小池政一校長 129人
高崎市倉渕町権田314番地1
TEL:027-378-3218
http://swa.city.takasaki.gunma.jp/kurabuchi_sho/

4月から「英語村」の子どもたちと一緒に、助け合いながら活動しています。3~6年生は週1日、放課後に英語活動の時間を設け、楽しみながら英語に親しんでいます。



ヤマメの赤ちゃん、可愛いね。

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」 許諾第30-111002号

風っ子・環境キャンペーン協賛社 (順不同)

角屋工業株式会社	ピックアップ	日産サテリオ群馬
桐生信用金庫	コエー株式会社	New Sunpia Life Support Resort
トヨタレンタリース群馬	トヨタ部品群馬共販	上武印刷株式会社
ユーケーホーム (株)浦野建設	JA全農ぐんま	群馬トヨペット
カネコ種苗株式会社	立見建設株式会社	株式会社 ソウワ・ディライト
	Sowa DELIGHT	総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ